

オンリーワン・ハイスクール（イノベーション・ハイスクール）計画書（報告書）Ⅱ類

学校名	(学校番号 18) 県立沼津東高等学校	テーマ	医療人材育成に向けたカリキュラム研究									
学校の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理数科と普通科の両学科生徒の医学への志を高め、共に学ぶ学習集団を育てる。</li> <li>・理数科及び普通科を横断する1年次生からの計画的医療人材育成プログラムを開発する。</li> <li>・全人的な人材を育てる工夫を凝らす。</li> <li>・指導チームを構築し、全校で取り組む。</li> </ul>			生徒の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療が果たすべき社会的使命を体験的に理解し、医療現場を支える人材として在り方、必要な資質を自ら考える。また、医療人材としての夢ある生涯のキャリアを描けるようにし、夢実現に向けた努力をする生徒とする。</li> </ul>							
3年間で構築する指導体制、教育課程等をどのように進めていくか。年度ごとの取組概要。	<令和3年度> ・校内特別委員会で本校にあった3年間を見据えた医療人材育成の在り方、手立てを検討する。 ・教員は、生徒の医学に対する興味・関心を高め、医学科進学のための実力養成の効果的な手法を検討する。 ・生徒は、各種プログラムにより、医療人材としてのキャリアデザインを描く。			<令和4年度> ・校内特別委員会で3年度の実施内容を踏まえつつ、手立てをブラッシュアップする。 ・教員は、先進校視察や実践された各種プログラムを検証し、医学科進学のための意欲・関心、実力養成の効果的な手法を再検討する。 ・生徒は、各種プログラムにより、医療人材としてのキャリアデザインを描き、夢実現に向けた主体的に学習プログラムを立てることができるようになる。			<令和5年度> ・校内特別委員会で過去2年間の成果と課題を整理、検証しつつ、3年間の育成プログラムを構築し、全職員で共有する。 ・教員は、生徒の医学に対する興味・関心を高め、医学科進学のための実力養成の効果的な手法を確立する。 ・生徒は、各種プログラムにより、医療人材としてのキャリアデザインを描き、主体的かつ生涯にわたって学び続けていく力を得ていく。					
			初期値		令和5年度目標値		令和3年度実績（評価）		令和4年度実績（評価）		令和5年度実績（評価）	
			1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
共通指標	①「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合（%）		31.7%	37.5%	45.0%	50.0%	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	
	②1週間の家庭学習時間の平均 ※21時間45分の場合21.75時間		17.25時間	13.45時間	20.0時間	22.5時間	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	
	③自ら進んで授業に取り組む生徒の割合（%）		46.8%	34.3%	60.0%	50.0%	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	・ ( ) ( )	
	④授業内容等に興味があって学校を選択した生徒の割合（%）		令和2年度入学生 4.0%		令和6年度入学生 10.0%		令和4年度入学生 % ( )		令和5年度入学生 % ( )		令和6年度入学生 % ( )	
個別の成果指標	⑤医学科受験者・合格者の増加（現役生徒）		受験者50・合格者15人		受験者60人・合格者23人							
令和3年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）			2,553,000円			令和3年度決算額			円			
令和4年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）			円			令和4年度決算額			円			
令和5年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）			円			令和5年度決算額			円			

※予算、決算及び次ページ以降は、提出時期に応じて加筆していく（令和3年度当初の提出では、黄色の部分に記入する。）。

※次年度の「目標値」を修正する場合は、変更箇所を朱書（見え消し）する。

※評価 A：100%（以上）達成 B：80%以上達成 C：60%以上達成 D：40%以上達成 E：40%未満